

2020年3月期 第3四半期決算 連結業績概要

2020年2月7日

太陽誘電株式会社
経営企画本部長
増山 津二

決算サマリー

2020年3月期第3四半期 業績概要

- 売上高722億円(前四半期比2%減)、営業利益94億円(前四半期比12%減)。
- 通信機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けの売上が堅調に増加。
- 2019年10月に発生した台風19号の被害に伴う特別損失などを計上、親会社株主に帰属する当期純利益は47億円(前四半期比△43%)。

2020年3月期 業績予想

- 期初予想から変更なし。

2020年3月期第3四半期 業績概要

売上高は前四半期比2%減少の722億円、
営業利益は前四半期比12%減少の94億円。

市場別では、通信機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けの
販売が堅調に推移。

2019年10月に発生した台風19号の被害に伴う特別損失などを計上した結果、
親会社株主に帰属する当期純利益は47億円。

2020年3月期 業績予想

期初予想から変更なし。

連結業績概要(前四半期比)

百万円	2020年3月期 第2四半期		2020年3月期 第3四半期		増減	
売上高	73,272	100.0%	72,187	100.0%	△1,085	△1.5%
営業利益	10,703	14.6%	9,446	13.1%	△1,256	△11.7%
経常利益	10,330	14.1%	9,152	12.7%	△1,177	△11.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	8,180	11.2%	4,666	6.5%	△3,514	△43.0%
対米ドル期中平均レート	107.58円		108.17円		0.59円円安	
為替変動による影響額	売上高 +1億円、営業利益 +0.5億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	3,265		3,200		△64	△2.0%
設備投資額	8,744		7,326		△1,417	△16.2%
減価償却費	6,560		6,734		174	2.7%

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

3

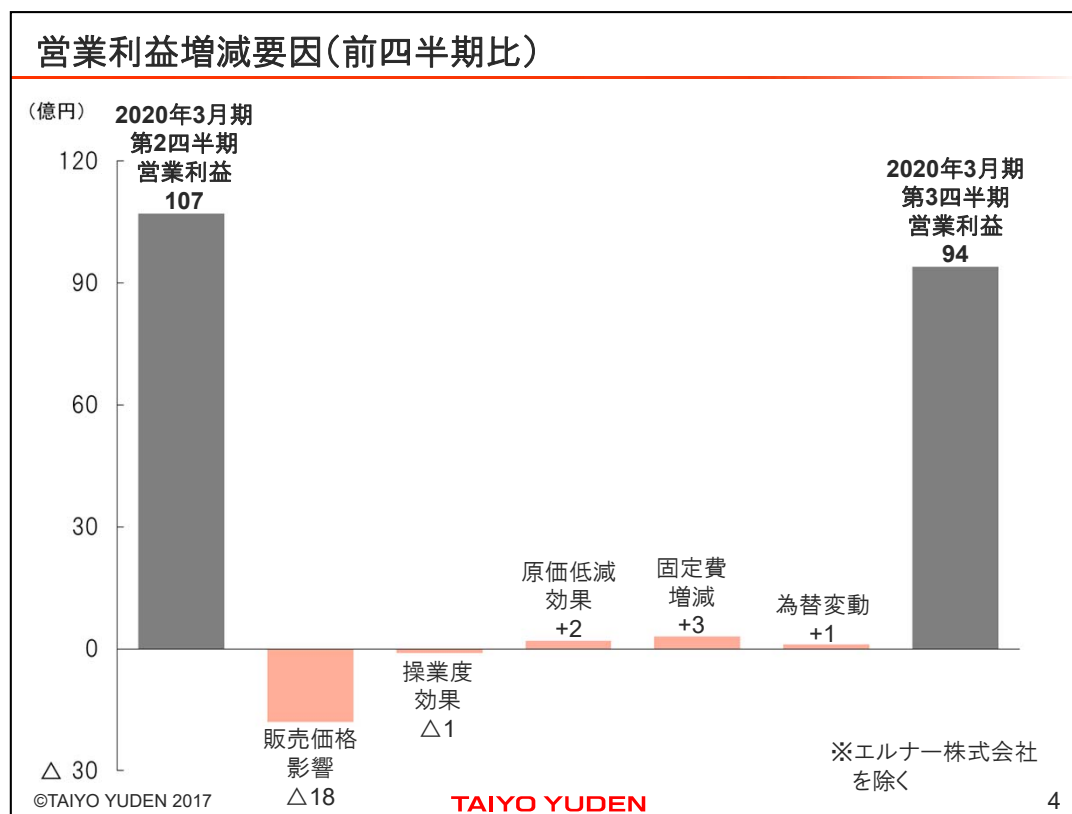
売上高は722億円、営業利益は94億円、経常利益は92億円。

特別損失として、2019年10月の台風19号で被害が発生した子会社の福島太陽誘電にかかる災害による損失34億円を計上。また、災害によって発生した損害に対する保険金10億円を特別利益として計上。なお、この災害による特別損失および特別利益の大部分は第3四半期で計上済みで、第4四半期以降の業績に与える影響は軽微である見込み。

その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は47億円。

期中平均の為替レートは、1米ドル108.17円。第2四半期に対して0.59円の円安。これによる影響額は、売上高に対してプラス1億円、営業利益に対してプラス0.5億円。

研究開発費は、前期比微減の32億円。
設備投資額は、前期比14億円減の73億円。
減価償却費は、前期比2億円増加し、67億円。



減益要因として、販売価格影響18億円、操業度効果1億円。

操業度効果には、販売数量増減やミックス改善、棚卸資産の増減などの影響が含まれる。
12月末の全社の棚卸資産は、為替影響など利益増減に影響がない部分を除いた実態ベースで9月末から約13億円減少。

増益要因として、
原価低減効果2億円、固定費の削減3億円、為替変動による影響1億円。

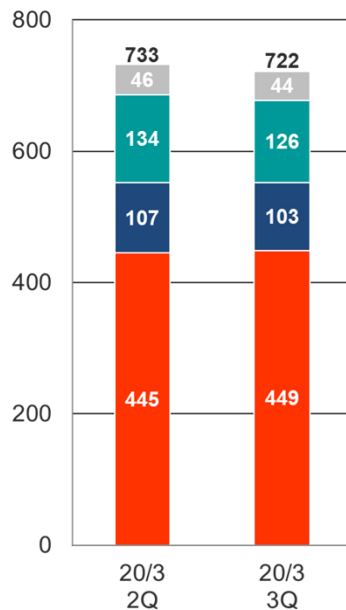
その結果、営業利益は第2四半期から13億円減少し、94億円。

製品別売上高(前四半期比)

百万円	2020年3月期 第2四半期		2020年3月期 第3四半期		増減	
コンデンサ	44,473	60.7%	44,907	62.2%	434	1.0%
フェライト及び応用製品	10,742	14.7%	10,303	14.3%	△439	△4.1%
複合デバイス	13,436	18.3%	12,621	17.5%	△815	△6.1%
その他	4,620	6.3%	4,354	6.0%	△265	△5.7%
合計	73,272	100.0%	72,187	100.0%	△1,085	△1.5%

製品別売上高(前四半期比)

(億円)



■ コンデンサ (前四半期比 +1%)

通信機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けが増加。

■ フェライト及び応用製品 (前四半期比 △4%)

通信機器向けと自動車向けが増加したものの、民生機器向けを中心に減少。

■ 複合デバイス (前四半期比 △6%)

電源モジュール、通信デバイス(FBAR/SAW)が減少。

■ コンデンサ

■ フェライト及び応用製品

■ 複合デバイス

■ その他

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

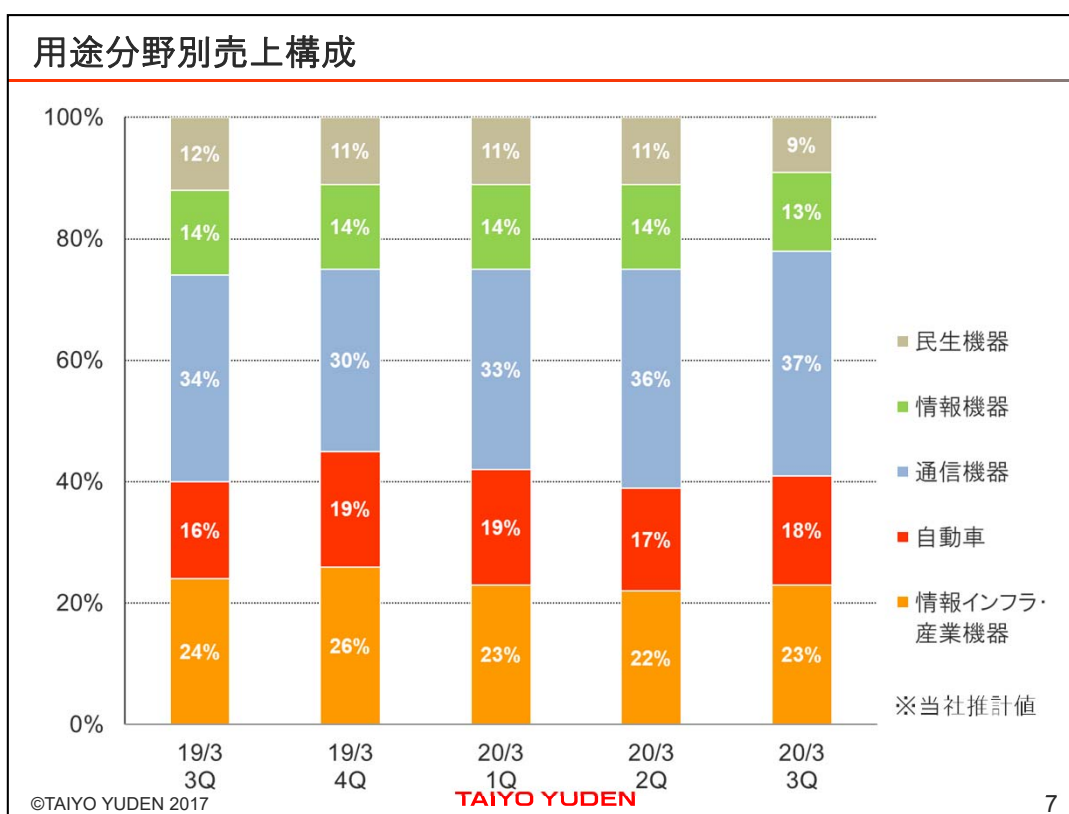
6

コンデンサの売上高は449億円、第2四半期に対して微増。
通信機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けが売上を伸ばし、
堅調に推移した。

フェライト及び応用製品は売上高103億円、第2四半期に対して4%減少。
通信機器向けや自動車向けが増加した一方で、
主に民生機器向けで売上が減少。

複合デバイスの売上高は126億円、第2四半期に対して6%減少。
電源モジュール、通信デバイス(FBAR/SAW)が減少。

なお、複合デバイスの売上に占める通信デバイスの割合は、約65%。



用途分野別の売上構成比は、
 基地局通信装置やサーバーなど情報インフラ・産業機器向けが23%、
 自動車向けが18%。
 自動車市場では生産・販売の不振が続いているものの、当社は電装化の進展による
 電子部品の需要拡大に対応して採用を増やすことで、着実に売上を伸ばしている。

スマートフォンを中心とする通信機器向けは、37%。
 PC、タブレット端末などの情報機器向けは、13%。
 TV、ゲームなどの民生機器向けは、9%。

引き続き、季節的な需要の変化に左右されにくい事業構造を構築するため、
 自動車向け、情報インフラ・産業機器向けに注力していく。

2020年3月期 連結業績予想

2020年3月期 連結業績予想

百万円	2019年3月期		2020年3月期 予想		増減	
売上高	274,349	100.0%	290,000	100.0%	15,651	5.7%
営業利益	35,237	12.8%	38,000	13.1%	2,763	7.8%
経常利益	34,351	12.5%	37,000	12.8%	2,649	7.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	23,687	8.6%	25,000	8.6%	1,313	5.5%
対米ドル期中平均レート	110.49円		110.00円		0.49円円高	
研究開発費	13,039		13,000		△39	△0.3%
設備投資額	38,570		45,000		6,430	16.7%
減価償却費	26,547		28,000		1,453	5.5%

2020年3月期の通期業績予想は、
5月に発表した期初予想から変更なし。

2020年3月期第4四半期 製品別売上高予想

百万円	2020年3月期 第3四半期	2020年3月期 第4四半期予想 (前四半期比増減)
コンデンサ	44,907	同水準
フェライト及び応用製品	10,303	△15-20%
複合デバイス	12,621	△2-6%
その他	4,354	△2-6%
合計	72,187	△2-5%
対米ドル期中平均レート	108.17円	(前提) 109.00円

第4四半期の製品別売上高予想は、第3四半期に対して
コンデンサはほぼ同水準、フェライト及び応用製品はマイナス15-20%、
複合デバイスとその他はマイナス2-6%と見込む。
合計で全社の売上高は、第3四半期に対してマイナス2-5%を想定。

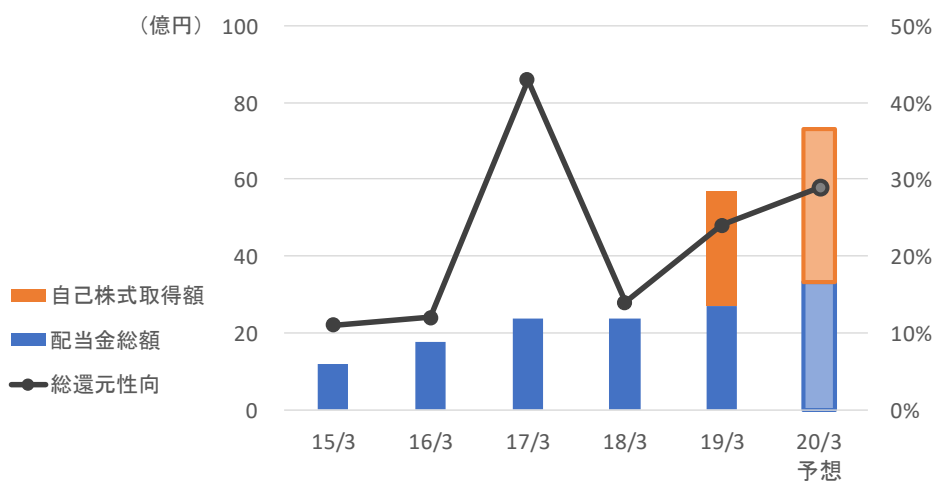
第4四半期の為替レートは、1米ドル109円の前提。

なお、全社の3月末の在庫は、12月末と同水準を維持する予定。

株主還元

増配

期末配当予想を11円→15円に修正（年間22円→26円）



1株当たり年間配当金(円)	10	15	20	20	21	26
1株当たり当期純利益(円)	92.74	125.27	46.08	138.80	189.93	195.83

安定的な総還元性向30%の実現を目指す

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

11

期末の配当予想を11円から15円に修正し、
年間配当は前期から5円増配の26円となる予定。
今期は既に40億円の自己株式取得も実施済みで、
総還元性向は目標である30%に近い水準となる見込み。

当社は、株主の皆様への利益還元の充実を経営の最重要課題のひとつと位置付けている。

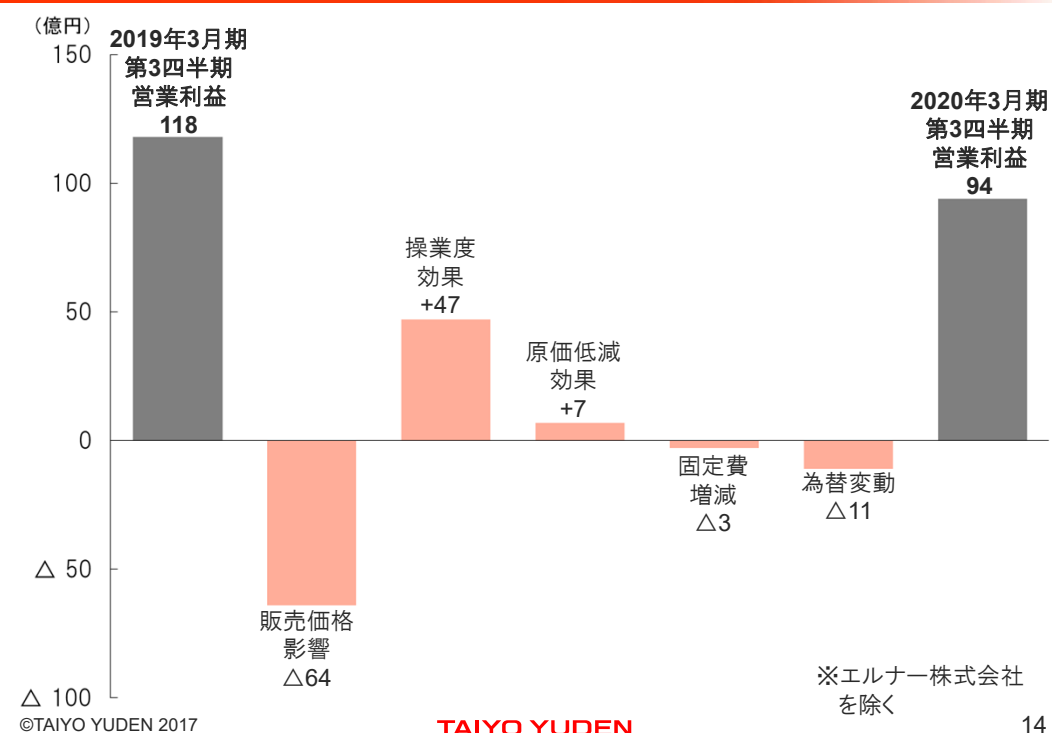
今後も、将来の成長のための設備投資や研究開発などを行いつつ、株主の皆様へも利益を還元していきたい。

補足資料

連結業績概要(前年同期比)

百万円	2019年3月期 第3四半期		2020年3月期 第3四半期		増減	
売上高	73,963	100.0%	72,187	100.0%	△1,776	△2.4%
営業利益	11,789	15.9%	9,446	13.1%	△2,343	△19.9%
経常利益	11,403	15.4%	9,152	12.7%	△2,251	△19.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	9,069	12.3%	4,666	6.5%	△4,402	△48.5%
対米ドル期中平均レート	112.71円		108.17円		4.54円円高	
為替変動による影響額	売上高 △22億円、営業利益 △11億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	3,227		3,200		△26	△0.8%
設備投資額	17,466		7,326		△10,139	△58.1%
減価償却費	6,826		6,734		△91	△1.3%

営業利益増減要因(前年同期比)

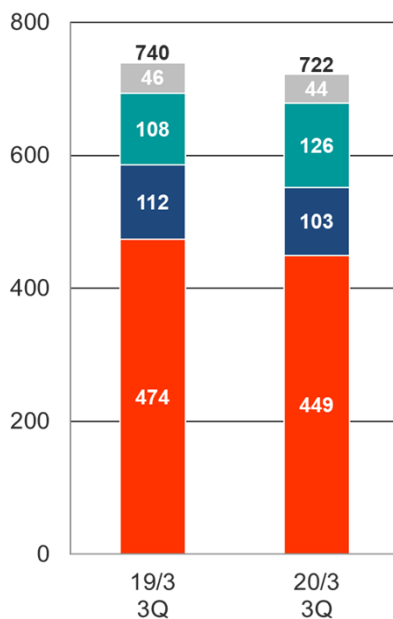


製品別売上高(前年同期比)

百万円	2019年3月期 第3四半期		2020年3月期 第3四半期		増減	
コンデンサ	47,362	64.0%	44,907	62.2%	△2,455	△5.2%
フェライト及び応用製品	11,209	15.2%	10,303	14.3%	△905	△8.1%
複合デバイス	10,783	14.6%	12,621	17.5%	1,838	17.0%
その他	4,607	6.2%	4,354	6.0%	△252	△5.5%
合計	73,963	100.0%	72,187	100.0%	△1,776	△2.4%

製品別売上高(前年同期比)

(億円)



■ **コンデンサ** (前年同期比 △5%)

民生機器向けなどが減少。通信機器向け、自動車向けは増加。

■ **フェライト及び応用製品** (前年同期比 △8%)

自動車向けが増加した一方、通信機器向け、民生機器向けなどが減少。

■ **複合デバイス** (前年同期比 +17%)

通信デバイス(FBAR/SAW)が増加。

■ コンデンサ

■ フェライト及び応用製品

■ 複合デバイス

■ その他

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

連結業績推移(四半期)

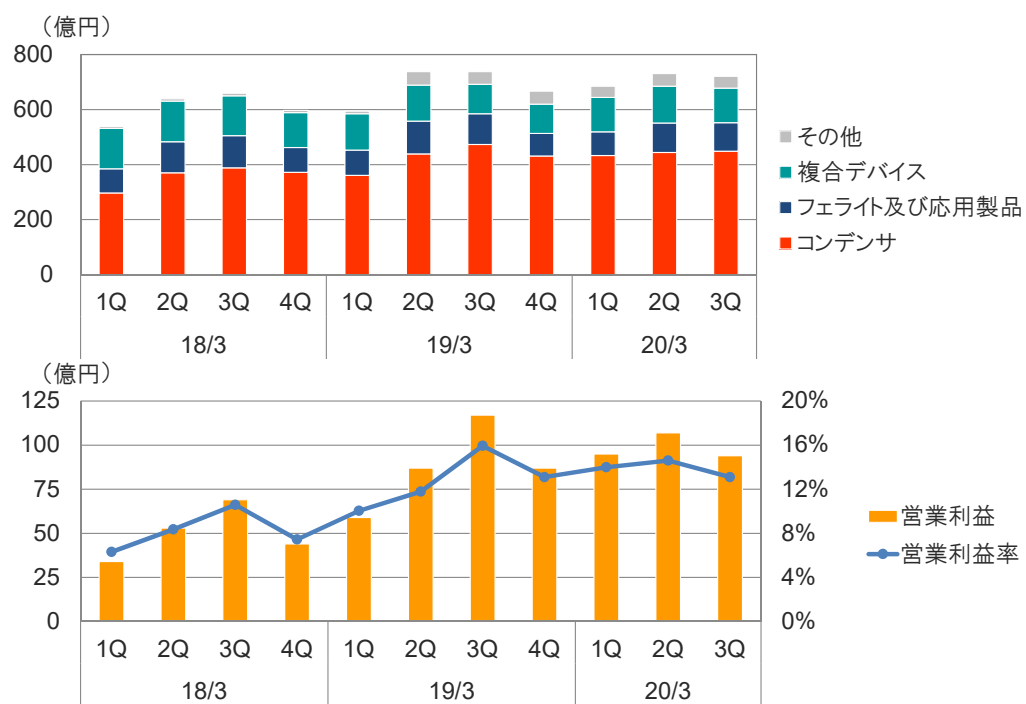
百万円	2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	54,072	64,107	66,053	59,883	59,576	73,989	73,963	66,820	68,635	73,272	72,187
コンデンサ	29,747	37,019	38,800	37,290	36,184	43,984	47,362	43,101	43,338	44,473	44,907
フェライト 及び応用製品	8,847	11,376	11,746	9,006	9,228	11,926	11,209	8,231	8,633	10,742	10,303
複合デバイス	14,711	14,871	14,533	12,722	13,208	13,160	10,783	10,778	12,523	13,436	12,621
その他	766	840	972	863	954	4,918	4,607	4,708	4,139	4,620	4,354
営業利益	3,412	5,362	6,985	4,460	5,981	8,722	11,789	8,744	9,595	10,703	9,446
経常利益	4,421	5,599	6,596	3,935	6,896	8,489	11,403	7,562	8,846	10,330	9,152
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,113	4,265	5,301	3,675	5,645	5,334	9,069	3,638	7,151	8,180	4,666
対米ドル 期中平均レート	111.81 円	111.11 円	112.23 円	110.62 円	107.76 円	110.84 円	112.71 円	110.64 円	110.95 円	107.58 円	108.17 円

©TAIYO YUDEN 2017

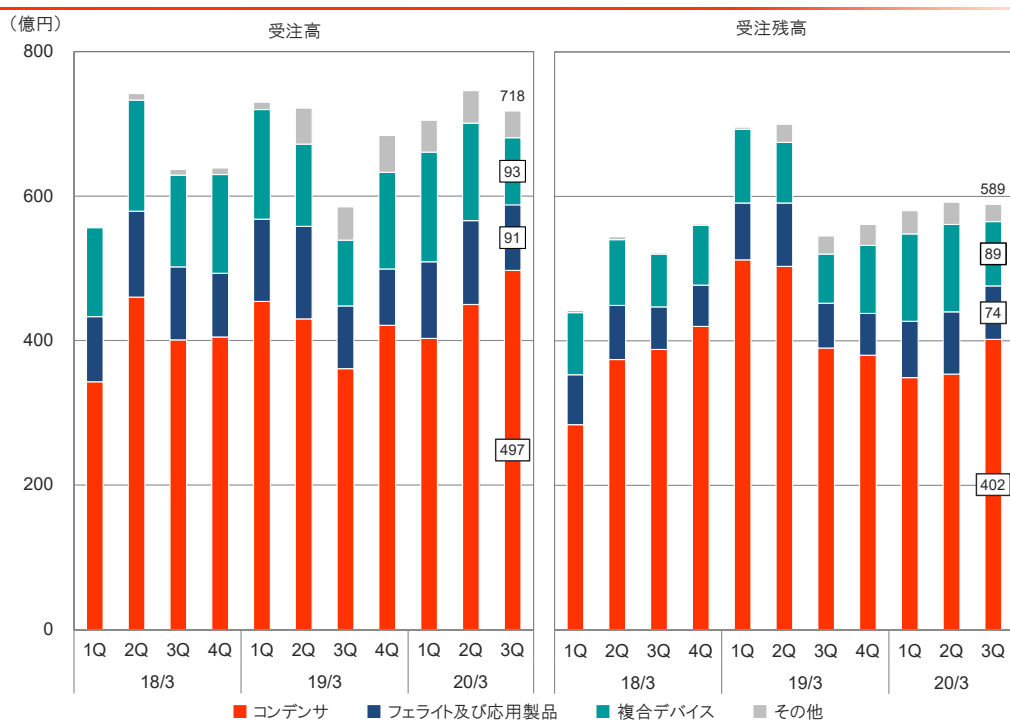
TAIYO YUDEN

17

連結業績推移(四半期)



受注高・受注残高推移(四半期)



当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN

©TAIYO YUDEN 2017